

議題 2

デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を受けた第2期“鳥栖発”創生総合戦略の改訂について

1. 第2期“鳥栖発”創生総合戦略の改訂に向けた基本的な考え方

国は、「全国どこでも誰が便利快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしている。本構想の実現を図るため、国は、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、令和5年度を初年度とする5カ年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定した。

地方においては、まち・ひと・しごと創生法に基づき、国の総合戦略を勘案し、地方版総合戦略を策定するよう努めなければならないこととされている。そのため、令和元年度に策定した、第2期“鳥栖発”創生総合戦略について、本市におけるDX関連施策を盛り込むとともに、策定時からの状況変化を踏まえた内容で改訂を行いたい。

2. スケジュール

<令和4年度>

令和4年12月23日	デジタル田園都市国家構想総合戦略（内閣府） 策定
令和5年1月20日	第2期“鳥栖発”創生総合戦略2023改訂版（骨子案） 作成
1月30日	鳥栖市まち・ひと・しごと創生本部会議 骨子案の提示
令和5年2月中旬	鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議 骨子案の提示
2月～3月	本部会議・有識者会議での意見等を受けて素案を作成

<令和5年度>

令和5年4月	鳥栖市まち・ひと・しごと創生本部会議 素案の提示
4月	鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議 素案の提示
5月	本部会議・有識者会議での意見等を受けて素案を修正
6月	第2期“鳥栖発”創生総合戦略2023改訂版 策定

3. 改訂の概要について

戦略の序論部分について、コロナ禍への対応や DX の推進等の国の動向に応じた時点修正等を行うとともに、下記の施策・事業について戦略への追加及び修正を行う。

追加する施策・事業

- ① 市街化調整区域における地区計画制度の運用
- ② 住宅用地検討調査事業
- ③ 鳥栖市さが暮らしスタート支援金
- ④ 書かない窓口システムの導入
- ⑤ 行政手続きのオンライン化
- ⑥ 市民ポータル構築
- ⑦ 公開型 GIS システムの導入
- ⑧ 道路台帳の電子化
- ⑨ 地域的な IT 人材育成のための学校との連携

修正する施策・事業

- ① 地方創生移住支援金
- ② GIGA スクール構想の推進（ICT 利活用推進事業）
- ③ 企業立地奨励制度の拡充（IT 企業・本社制度）
- ④ AI-OCR・RPA の導入
- ⑤ 新産業集積エリア整備事業
- ⑥ 味坂スマート IC（仮称）周辺整備

また、国は、地方版総合戦略の改訂の際、次の 2 点に努めるよう求めている。

- 国の総合戦略の計画期間を勘案すること
- 地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を再構築し記載すること

これらについては下記のとおり取り扱うこととしたい。

⇒国は、令和 6 年に人口の現状及び将来の見通しを示す「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の改訂を行ったうえで、必要に応じて総合戦略の見直しを行う予定としている。それを受けて、本市においても鳥栖市人口ビジョン及び総合戦略の改訂が必要となることが想定されるため、その際に、KPI の達成状況を踏まえ、改めて計画期間の設定と地域ビジョンの再構築を行う。

4. 参考 “鳥栖発”創生総合戦略策定等の経緯

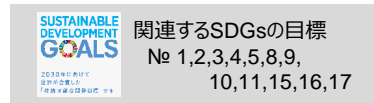
＜第1期＞ 計画期間：平成27年度～令和元年度

平成27年8月	“鳥栖発”創生総合戦略（素案） 作成
平成27年8月～9月	パブリック・コメント実施 ※市議会に実施を報告
平成27年9月	“鳥栖発”創生総合戦略 策定
平成29年9月	“鳥栖発”創生総合戦略（平成29年[2017年]改訂版） 改訂
平成29年9月	市議会定例会 議案外報告 ※パブリック・コメントは未実施

＜第2期＞ 計画期間：令和2年度～令和6年度

令和元年11月	第2期“鳥栖発”創生総合戦略(素案) 策定
令和元年12月	市議会定例会 議案外報告
令和2年1月～2月	パブリック・コメント実施 ※議会に実施を報告
令和2年3月	第2期“鳥栖発”創生総合戦略 策定

「第2期”鳥栖発”創生総合戦略令和5年(2023年)改訂版」骨子案



鳥栖市
人口ビジョン

第7次鳥栖市
総合計画

第2期”鳥栖発”創生総合戦略改訂版 (2023~2027年度の5カ年)

中長期展望
(2060年を視野)

I.人口の
現状分析

II.人口の
将来展望

令和2年
(2020年)
目標人口
75,000人

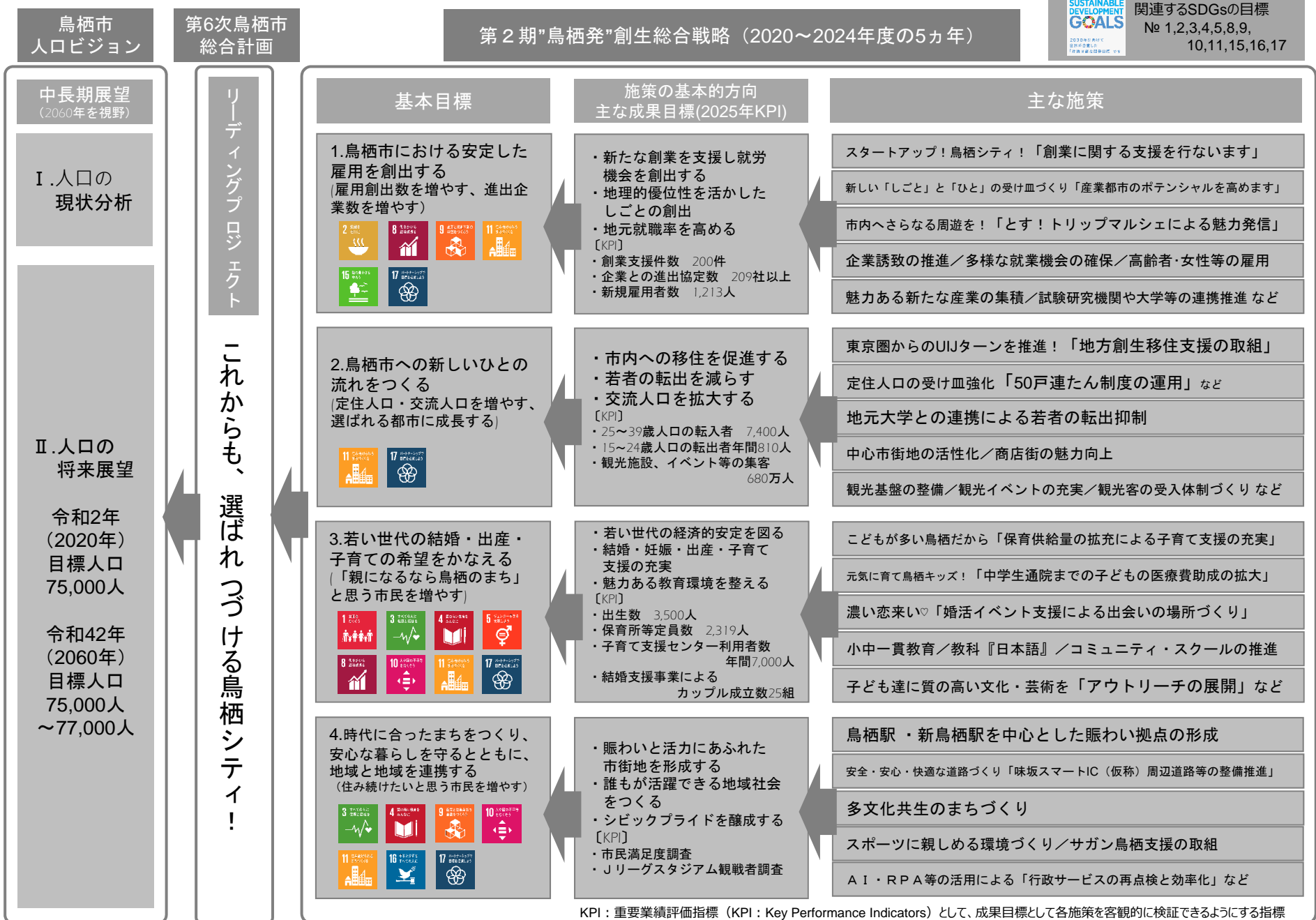
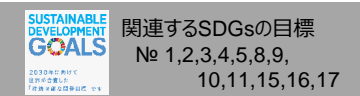
令和42年
(2060年)
目標人口
75,000人
~77,000人

将来都市像
住みたいまち、
活躍できるまち、
選ばれるまち、
鳥栖スタイルの深化！

基本目標	施策の基本的方向 主な成果目標(2025年KPI)	主な施策
<p>1.鳥栖市における安定した雇用を創出する (雇用創出数を増やす、進出企業数を増やす)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな創業を支援し就業機会を創出する ・地理的優位性を活かしたしごとの創出 ・地元就職率を高める <p>[KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援件数 200件 ・企業との進出協定数 209社以上 ・新規雇用者数 1,213人 	<p>スタートアップ!鳥栖シティ!「創業に関する支援を行ないます」</p> <p>「しごと」と「ひと」の次なる受け皿へ「味坂スマートIC(仮称)周辺整備」</p> <p>市内へさらなる周遊を!「とす!トリップマルシェによる魅力発信」</p> <p>企業誘致の推進/IT企業等への奨励制度の拡充/高齢者・女性等の雇用</p> <p>魅力ある新たな産業の集積/試験研究機関や大学等の連携推進 など</p>
<p>2.鳥栖市への新しいひとの流れをつくる (定住人口・交流人口を増やす、選ばれる都市に成長する)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内への移住を促進する ・若者の転出を減らす ・交流人口を拡大する <p>[KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25~39歳人口の転入者 7,400人 ・15~24歳人口の転出者年間810人 ・観光施設、イベント等の集客 680万人 	<p>地方創生移住支援金/さが暮らしスタート支援金</p> <p>定住人口の受け皿強化「市街化調整区域における地区計画制度の運用」</p> <p>50戸連たん制度の運用/住宅用地検討調査</p> <p>商店街の魅力向上/学校との連携によるIT人材育成</p> <p>観光基盤の整備/観光イベントの充実/観光客の受入体制づくり など</p>
<p>3.若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる (「親になるなら鳥栖のまち」と思う市民を増やす)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の経済的安定を図る ・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 ・魅力ある教育環境を整える <p>[KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生数 3,500人 ・保育所等定員数 2,319人 ・子育て支援センター利用者数 年間7,000人 ・結婚支援事業によるカップル成立数25組 	<p>子どもが多い鳥栖だから「保育供給量の拡充による子育て支援の充実」</p> <p>元気に育て鳥栖キッズ!「中学生通院までの子どもの医療費助成の拡大」</p> <p>教育DX!「GIGAスクール構想の推進」</p> <p>小中一貫教育/教科『日本語』/コミュニティ・スクールの推進</p> <p>子ども達に質の高い文化・芸術を「アウトリーチの展開」など</p>
<p>4.時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する (住み続けたいと思う市民を増やす)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいと活力にあふれた市街地を形成する ・誰もが活躍できる地域社会をつくる ・シビックプライドを醸成する <p>[KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度調査 ・Jリーグスタジアム観戦者調査 	<p>鳥栖駅・新鳥栖駅を中心とした賑わい拠点の形成</p> <p>安全・安心・快適な道路づくり「味坂スマートIC(仮称)周辺道路等の整備推進」</p> <p>自治体DX!「行政手続のオンライン化×行政サービスの効率化」</p> <p>ホームタウン鳥栖市!「サガン鳥栖・久光スプリングス支援の取組」</p> <p>多文化共生のまちづくり など</p>

KPI: 重要業績評価指標 (KPI: Key Performance Indicators) として、成果目標として各施策を客観的に検証できるようにする指標

「鳥栖市人口ビジョン令和元年（2019年）改訂版」と「第2期”鳥栖発”創生総合戦略」の全体像



KPI: 重要業績評価指標 (KPI: Key Performance Indicators) として、成果目標として各施策を客観的に検証できるようにする指標